



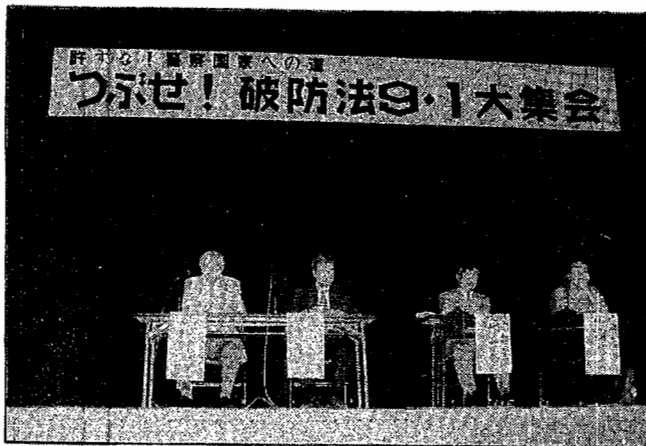
日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96.9.6 No. 4461

許すな警察国家 9.1 大成功 への道! つぶせ破防法! 集会がちとる!



九・一破防法反対集会は、杉並公会堂に九五〇名が結集し、七時間余にわたってコンサートや、それぞれの運動体からの訴え、シンポジウムが行われ、新ためて破防法の団体適用の恐ろしさをつかみとり、絶対「阻止」にむけて、更に運動・陣型を拡げることが決定された。特長は、破防法に反対する幅広い結集がもちとられたことであり、中でも学生や青年労働者の参加が目立ったことである。

九五〇名への結集

反対運動の陣型 国鉄・安保・沖縄・破防 大きくひろがる 反対の三大闘争で、 「日本を変えよう」

「日本を変えよう」

これは、今後の運動の発展を感じさせるものであり、参加者は「この成功をステップに更に頑張ろう」と決意を固めた。

また、この「九・一」は、革マルの集会破壊を粉碎し、権力に一指も触れさせることなく大成功をかちとった。革マルは、破防法反対運動に敵対し「孤立」を深め、卑劣な妨害を繰り返したにもかかわらず、運動がドンドン広がっていることに危機感をつのらせ、当日も集会破壊を狙ったものの、全参加者の共同した「怒り」の前に、なすすべもなく破産し、より一層の孤立と危機を深めているのである。「九・一集会」の成功をステップに更に闘いを強めよう。

写真/集会の中
でおこなわれた、
シンポジウムと
コンサート。
(下左) 三線、サン
を演奏する花さん



各運動体からの発言の中で、動労千葉を代表し、田中書記長が闘いの方向性と決意を述べた。「国労中央の裏切りを許さず、正念場の国鉄決戦に責任をとる。国鉄闘争と安保・沖縄、破防法反対闘争を一体のものとして推進しよう。労働者こそ闘いの軸を担い、立ちあがった時勝利できる」とキツパリと言いきり、会場から大きな拍手がわいた。



写真/協販部の即売会



今まごじまり
二九三九です。

動労千葉本部
の鉄電が
2935
一本になりました。

お知らせ